

都道府県名：山梨県	市町村名：都留市
<p>1. 活動名 つるビーの森ドングリプロジェクト</p>	
<p>2. 取組の背景、目的 里山といわれるドングリの森の生命力を知ること、自らと対峙する。 奥山感を耕し、感情豊かな心を育む。 森に触れることで、自然のつながりとサイクルを体感する。 日常から自然と対峙する意識を高めるトレーニングをする。 森と川への認識と役割、さらにつながりを知る。 植樹を行なうことで、ナラ科樹木の性格、生命力、役割を知る。 混合林＝森の形成を体感する。 相模川水系大幡川と本流流域との自治体との関係を構築し、交流を図る。</p>	
<p>3. 実施主体 都留市役所産業観光課</p>	
<p>4. 取組の概要 毎月1回から2回のイベントを行なっている。幅広い年齢の交流と森のエネルギーを利用し、実感できるようにプログラムを形成している。ゴール設定は、市民の里地・里山・里水意識の醸成を図ることで、森を活かすことから、人が森を活かされることへ意識を導き、体感することは学びと気付きの連続であることを知ると共に、森と人と生き物のつながりを読み取れる人材を育てることを掲げている。その過程の中で、森の維持・管理だけでなく、ランドデザインも行なえる人材育成もテーマにある。 ＊人材育成は、都留市環境教育コーディネータープログラムに基づく</p>	
<p>5. 支援事業（国、都道府県、各種団体等から支援、補助を受けている事業名、及び補助率を記入して下さい。） 無</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題 回を重ねるたびに、リピーターならびに新規参加者が確保されている。 今後は市にとどまらず、県や外部講師を招いてのワークショップ開催も検討している。さらには施設敷地内が県有林に囲まれているため、県有地を有効活用できる方策を県ならびに市で検討をし、森への意識醸成を高める機会を模索している。</p>	



源流をさがせ！！

親子で「今の気持ち」について抱っこをして話をしてもらっています。視覚から入ったこと、胸の内を打ち明けます。そして親はその言葉を評価することなく、受け入れます。そして親が自分の思いを打ち明けます。受容の関係性を構築し、関係性を深めるトレーニング。



餅つき大会

餅つきの前に森で薪拾い。その後のこぎりや鉈で小さく切り熱エネルギーを確保し、その副産物として餅を頂きます。大切なことは、循環型の森の再生、奥山感を耕すこと。



森の中でターザンごっこ

森でツルをみつけ、ターザンをしながらツルを刈り取っていきます。大事なことは、ツルを切り採る姿を見せながら、参加者に「なぜ、切るの？」疑問を抱かせ、その問いに答えること。



薪拾い隊

施設付近の森からたき火や薪ストーブなど集め、熱エネルギーとして利用し、副産物としてお茶や温もりを頂きました。数十分で抱えきれないほどの薪を集め、薪を束ねるのにツルを刈り取り、森の維持に努める体感プログラム。